

2014年（平成26年度）複数年サイクル点検評価レポート【施策評価】

分野名	I 府民の参加・行動	施策 No.	3	施策名	行動を支援する仕組みの充実
-----	------------	--------	---	-----	---------------

目的、内容	環境配慮行動を支援する仕組みを充実させる。 行動への後押しとなるインセンティブ（動機付け）の創出につながる新たな社会・経済的手法の実現に取り組む。			
副次的効果、外部効果等	ESD（持続可能な開発のための教育）の視点による多様な主体の連携により、地域や地球の課題解決に向けた市民と地域の力の向上に資する。			
関係法令、行政計画等	①環境教育等促進法（H23 改正公布） ②環境教育等行動計画（H24 年度策定）：施策の柱に「情報基盤の充実と連携の強化」「場の提供・学習機会の提供」「協働取組の推進・民間団体等への支援」を掲げる。			
国等の政策、社会情勢等	①H22 年 11 月、社会的責任に関する国際規格（ISO26000）が発行。説明責任、透明性、法令遵守、人権の尊重など社会的責任に関する7つの原則をはじめ、組織の中で社会的責任を実践していくための具体的な内容等を規定。 ②東日本大震災（H23 年 3 月）を契機として、被災地のみならず我が国全体において、大量の資源・エネルギーを消費する今日の社会のあり方を見つめ直し、また、人と人とのつながり、地域とのつながりやボランティア等の社会への貢献が強く意識されるようになった。 ③H24 年 6 月閣議決定「環境保全活動、環境保全の意欲の増進及び環境教育並びに協働取組の推進に関する基本的な方針」において、協働取組についての取組の方向が新たに規定された。 ④「大阪府人口減少社会白書」（H24 年 3 月）において、今後 30 年間の少子高齢化と人口減少の進行により、地域コミュニティの減少・弱体化が懸念され、ソーシャルキャピタル（「人と人とのつながり」の礎となる信頼関係、また、それを原点に広がる人間関係などを意味する概念）の維持・充実、地域力再生の促進（地域の絆の再認識）が課題と指摘。			
施策実施に要したコスト（職員人件費を除く）	事業のコスト（千円）	2011 年度（決算額）	2012 年度（決算額）	2013 年度（決算見込額）
	環境目的の事業費	8,747	9,532	8,026
	本施策が主たる目的であるもの 本施策が従たる目的であるもの	21,740	19,390	19,317
環境以外の目的を含む事業費	0	0	0	0
取組指標及び実績 （施策効果の定量評価）	名称	把握方法	実績	
	① 地域の環境保全の取組に参加する府民の割合の変化	府インターネットモニターアンケート（参考値※、2 ヶ年同一モニター）	過去 1 年間に参加した府民の割合 38.7%（2013 年）、44.2%（2014 年）	
	② 環境に対してよいと思うことを人に伝えたり広めたりする府民の割合の変化	同上	過去 1 年間に実践した府民の割合 34.5%（2013 年）、35.4%（2014 年）	
	③ イベントや交流組織に参加、または活動を認知している府民の割合の変化	同上	参加経験有：8.0%（2013 年）、12.6%（2014 年） 存在を認知：27.4%（2013 年）、34.9%（2014 年）	
	④ 環境に関するキャンペーンに参加、または認知している府民の割合の変化	同上	利用経験有：7.3%（2013 年）、30.3%（2014 年） 存在を認知：10.7%（2013 年）、37.8%（2014 年）	
「主な施策」の進捗状況	名称	進捗状況※	主な事業の名称	事業の実施状況
	企業との連携等による社会・経済的な支援手法の導入の検討	☆☆	ホームページ「エコでえーこト」の作成、運営 環境保全活動補助金 おおさか環境賞	エコ商品・エコ金融・各種支援制度の案内 掲載サービス数 207 件（2013 年度末） 民間団体の環境保全・教育・研究活動を支援 対象 8 件（2013 年度） 企業・団体等の環境の保全・創造に資する活動を表彰 対象 7 件（2013 年度） 優れた協働取組を顕彰する特別賞（協働賞）の創設（検討：2013 年度、実施：2014 年度～）
	製品やサービスへの環境ラベリングの推奨	☆☆	EMS 普及啓発事業 再生品普及促進事業	ポータルサイトの運用、セミナー出講等による普及啓発 リサイクル認定製品の普及 製品数 269（2013 年度末）
	NPO・企業等との連携イベント等の開催 誰もが気軽に行動できる社会づくり	☆☆	ローカルアジェンダ 21 推進事業 笑顔OSAKAの取組 アドプト・リバー・プログラム	毎年度、「豊かな環境づくり大阪府民会議」において「豊かな環境づくり大阪行動計画」を策定 産公学民協働による地域づくり活動 参加 640 団体（2013 年度） 地域団体等との協働での河川環境改善 参加 4 万人超（2013 年度）
※進捗状況：☆☆☆計画以上の進捗/☆☆計画どおり/☆計画以下の進捗/△計画とは異なる事業内容で進捗				
評価	評価	理由等		
	施策目的の達成見込み	順調に推移	指標値は横ばいまたは増加傾向で推移している。	
	事業の進捗状況	概ね計画どおり進捗		
計画見直し又は改善事項	見直し・改善点の有無	見直し・改善の内容等		
	目標	無		
	施策の方向・主な施策	無		
	工程表	—		
	その他の改善事項	有	取組指標に目標は設定しないが、大きな低下が見られた場合はその要因を分析し、その後の改善に活かす	
関係課室	みどり都市環境室、環境農林水産総務課、循環型社会推進室、都市整備部			

※本アンケートの対象は自己申告制のモニターであり、統計的な手法で府民全体から抽出したのではないため、本結果は府民の状況を統計的に反映したものではなく、参考値として扱う。

環境総合計画部会委員による点検（所見）	点検評価手法の適正さについて	評価結果について	計画の見直し又は改善方針について